

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-68	中学校	外国語	英語	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	英語002-82	NEW HORIZON English Course 2		

Over the  
NEW HORIZON

## 1 編修の基本方針

GIGAスクール構想対応

## 英語でつながる心豊かな体験を、みんなで

この教科書は、日本で英語を学ぶ全ての生徒たちが、生涯を通して国際社会で心豊かに暮らすために必要な学びを編修しています。「中学生」の発達段階に十分に配慮しつつ、英語を使って「自分の言葉」で他者とコミュニケーションできる喜びを実感してもらうことを最重要視しました。特に留意したのは次の2点です。

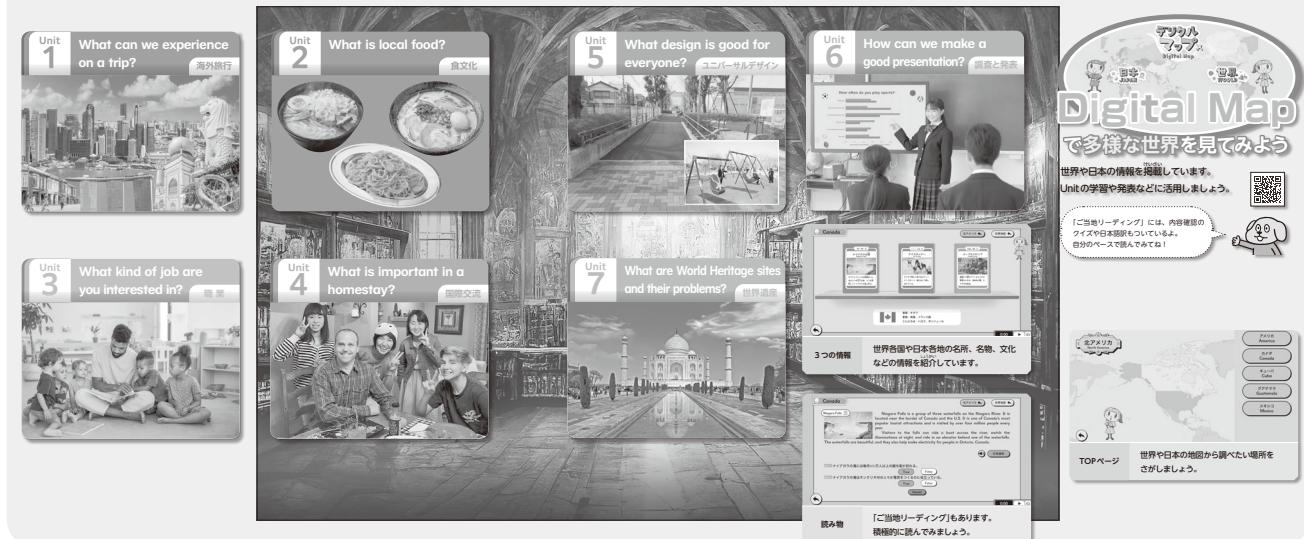
- 英語という言語を通じて、他者とつながる素晴らしい「体験」をたくさん積み上げること
- その活動を通して身につけた技能で、積極的に世界とつながろうとする「心」を育てるこ

その実現に向けて、誰もが学びたくなる楽しい仕掛けを紙面とデジタル教材に多数用意しています。

2年生のテーマ

## もっと英語で伝え合おう!

日本で暮らす中学生が、地域や世界の魅力を伝えたくなるようなご当地名物や世界遺産の話題を取り上げました。



特色

1

小中高接続  
重視の教科書

学びの「のりしろ」

特色

2

単元末活動  
重視の教科書

学びの地図

特色

3

ダイバーシティ  
重視の教科書

学びの多様性

Book 2 で、中学生たちは次のように学ぶことができます。

## 特色 1

# 小中高接続重視の教科書

GIGAスクール構想に対応して、中学生たちが英語学習の必須アイテムだと思えるような、新たなデジタルコンテンツと学びのメソッドを取り入れました。

Book 1 では、英語の音にしっかりと慣れ親しんだ小学生たちが入学後に出会った中学校英語の世界で、音と文字を結び付けたり、英語の文の構造への気づきを法則として学ぶなどしながら、身近な話題で英語を使ってコミュニケーションする体験を積み上げてきました。その結果、中学校に入学したころは、自分と相手のことを伝えていましたが、1年生の後半になると第三者のことも伝えられるようになり、話題も身近なことから世界で活躍する憧れの人のことについて広がるなどして、生徒たちの「心」は確実に成長していきます。その成長を受け止め、Book 3 の3年生になつた教科書であるために、Book 2 では次のような教科書の使い方ができるようにしています。

## 1 Unitの本文で扱った題材のご当地版をデジタルマップにより豊かに

日本全国津々浦々の名物、名所など、中学生をはじめ、誰もが語りたくなる話題を教科書本文で取り上げています。さらに、その話題を中学校の学習指導要領で扱う範囲の言語レベルで広げたり深めたりできる多読教材をデジタルコンテンツに掲載しています。デジタルマップの書棚から読める英文は教科書本文をベースに作っているため、教科書本文の英語に何度も触れて定着させることができます。また、発信活動の例文として活用できます。

### 紙 Unit 2 (pp.19~26)

This image shows the paper-based content for Unit 2, pp.19~26. It includes a title 'What is local food?', a 'Read and Think' section with a video thumbnail, and several text boxes detailing different ramen types like Sapporo ramen, Okinawa ramen, and Hakata ramen. There are also sections for 'Unit Activity' and 'What's New'.

### デジタル デジタルマップ

This image shows the digital digital map interface for Unit 2. It features a world map with a focus on Japan, where various ramen types are marked. A callout box highlights 'Okinawa'. Below the map are three screens showing detailed information about Okinawan ramen, including its texture ('thick') and origin ('earlier'). A large circular icon at the bottom right shows two students working together.

※日本語訳や確認クイズもあります。スローラーナーにもファストラナーにも有効です。

\*生徒は紙面に紐づく全国のご当地紹介文から、関心のあるものを選び、素材のヒントとして参照しながら自己表現活動を行うことができます。また、他の国や地域の学校どうしでオンラインで地域紹介の交流をする際など、伸縮自在に、個別最適に活用できます。ほかにも、夏休みなどの多読教材にもなります。



## 2 Language Focusで辞書を活用しながら日英の言語を比較し、思考する

Read and ThinkのLanguage Focusがあるページのコードを読み取ると、該当する辞書のページが出てきます。ここでは本文の中から、ラーメンのスープが“thick”という形容詞で表現された部分を取り上げ、当てはまる意味を推測したり、辞書で調べたりする活動ができます。

**Round 2 Focus on the Details**

札幌ラーメンと喜多方ラーメンについての情報をまとめましょう。

Soup	Other information
miso-based	The recommended is local sweet corn.

本文中の thick の意味が問われます。

コードを読み込んで、英和辞典の紙面を呼び出し、ここで問われた thick の意味を確認できます。

**they** (あそや)

● 人代形助詞(三才複数の主格)  
● 彼ら(あそら)が、彼女たちは(まど)、それらは彼らは(あそら)が好きだ

A thick book is a thick book.  
B They're posters.

形容詞 they 実物形容詞と所有・所有代形詞  
主格 they 他の(ほかの)もの  
所有格...their  
形容詞 thick 実物形容詞と所有・所有代形詞  
主格 thick その(その)高いスープ  
形容詞 thick 実物形容詞と所有・所有代形詞  
主格 thick それは、男物か女性か、また動物か植物かを問うる時、それでの三才の形容詞を用います  
● 一般の人なら、「ある人は高いところの人」などといいます  
● 一般的に女性、「高いところの人」などといいます  
They say English in Australia.

コードから呼び出した  
英和辞典のページ

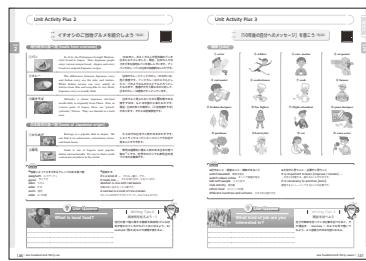
### 3 文法解説動画やDクイズ、デジタル資料集で語彙力・文法力をつける

Word Roomなどの全学年共通のデジタル資料集は、Book 2の紙面の内容だけでなく、Book 1に掲載されているものも全て見ることができます。全学年分参照できるので、学年の壁を越えて豊かに言語活動ができます。

#### デジタル 文法解説動画



#### デジタル 文法クイズ



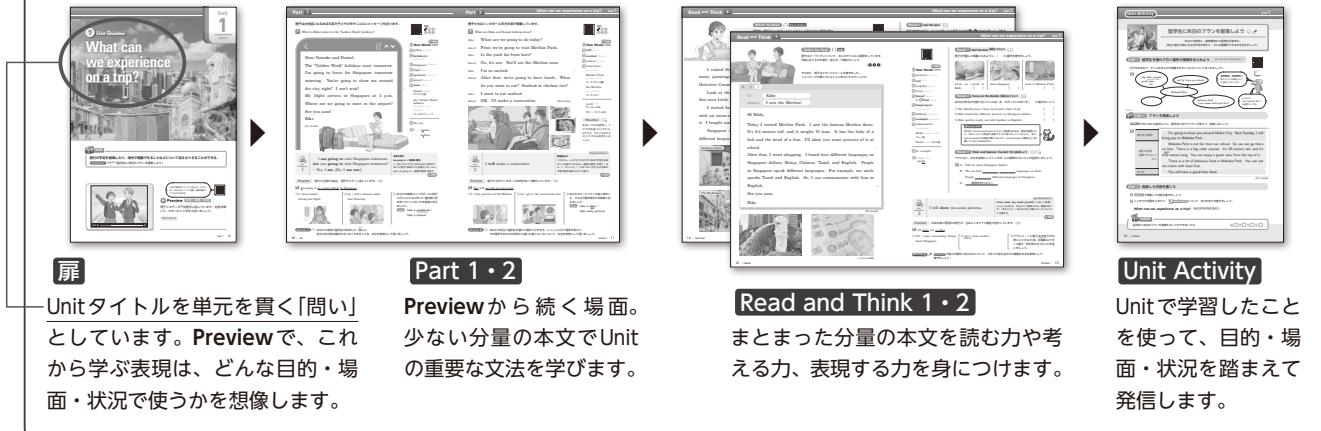
生徒は自己調整の学びとして、Book 1に戻って文法解説動画を見たり、Dクイズで理解を確かめたりすることができます。

特色  
**2**

### 単元末活動重視の教科書 (本資料p.7参照)

教科書本文とパート末の活動 Activity 、単元末ゴールの姿 Unit Activity をより強固につなげ、思考力・判断力・表現力を自然な流れで積み上げます。

#### Unit の学習の流れ



特色  
**3**

### ダイバーシティ重視の教科書

英語の授業で取り扱いたいインクルーシブ教育をめざしました。

- 取り扱う題材や登場人物の出身地などは、未来の世界を担う中学生たちに、言語活動を通して得た学びによって、**多様性が尊重される社会**を自らの手で築いてほしいという願いを込めて選定しました。
- Unit Activity** を積み上げて年3回の大きなパフォーマンス評価に臨む場として設けた **Stage Activity** では、多様な人種が暮らすカナダの中学生からのビデオレターやVancouver Diversity Channelなどのリアルな体験型動画で、**国際交流の擬似体験**ができます。
- ダイバーシティメモ**で本文への推論発問を引き出します。



## 2 対照表

図書の構成・内容	留意点	具体例
全体	<p>①基礎・基本となる文や文構造、文法を系統的に学ぶと同時に、それらを単なる知識としてではなく、<b>目的・場面・状況に合わせて活用できるコミュニケーションの力</b>として育成することをめざしています。(第1号)</p> <p>②各Unitで取り上げる題材を通して、異なる文化の発想や考え方を知り、<b>広い視野</b>でのものごとをとらえる力や相手の立場に立って理解しようとする態度を育成します。(第1号)</p> <p>③生徒の心情に訴える題材を取り上げ、<b>思いやりや生命の尊さ、郷土を愛する心、国際理解などの道徳心</b>を培うように配慮しています。(第1号)</p> <p>④学年3回の節目で行うStage Activityや巻末には、生徒の興味関心に広く訴える語彙集や資料があり、<b>豊かな自己表現</b>を促します。(第1号)</p> <p>⑤Real Life Englishでは、言語の使用場面や働きを踏まえたコミュニケーション活動を行い、<b>実生活に生かす</b>ことができます。(第2号)</p> <p>⑥Unitでは保育園での職業体験を取り上げ、<b>勤労意識を醸成</b>するとともに、後続のReal Life Englishでスポーツ選手のインタビューを、Learning Technology in English (CLIL) では様々な場面で活躍するロボットを扱い、<b>AIが普及する時代に人間が働くこと</b>について深く考えるようにしています。(第2号)</p> <p>⑦学校での活動や他教科の学習に配慮して教材を配置しています。生徒は、<b>自らの学校生活と重ねて学習</b>が進められます。(第2号)</p> <p>⑧対話的な学習を促すために、ペアやグループで取り組む活動を豊富に用意しています。Unitで学習したリサーチの方法を生かして自分がリサーチしてプレゼンテーションする活動では、<b>相手意識を持つて伝えたり、協力し合ったりする態度</b>を育みます。また対話の方法として、意見を伝え合うディスカッションを取り扱っています。(第3号)</p> <p>⑨イラストや写真を含め、ジェンダーにとらわれることなく<b>男女が協力して生きる様子</b>を取り上げています。また、誰もが住みやすい社会をめざす取り組みを題材として扱っています。(第3号)</p> <p>⑩自然を大切にしたり、<b>環境の保全</b>を強く意識したりするような題材を取り上げています。(第4号)</p> <p>⑪世界に日本の良さを発信しようとする生徒を育成するために、<b>伝統や文化、自然</b>に関する題材を取り上げています。(第5号)</p> <p>⑫国語との関連を図り、日本語との関連から、英語について学べるような資料を掲載し、<b>言葉への豊かな感性と情操</b>を育成します。(第5号)</p> <p>⑬グローバル社会で生きることを意識し、海外の生活や文化を理解した上で、尊重する心を育み、<b>国際社会の平和と発展に寄与する態度</b>を養います。(第5号)</p>	<p>①p.9 Unit 1 「What can we experience on a trip?」のPreview、p.10、11、13、15のActivity 1~4、p.16のUnit Activity</p> <p>②pp.9~16 Unit 1 「What can we experience on a trip?」pp.49~56 Unit 1 「What is important in a homestay?」</p> <p>③pp.84~87 Let's Read 2 「A Glass of Milk」</p> <p>④pp.40~43 Stage Activity 1 「My Favorite Japanese Food」</p> <p>⑤p.17 Real Life English Scene 1 「機内放送」</p> <p>p.27 Real Life English Scene 2 「旅行先でー許可を求める・依頼するー」</p> <p>p.57 Real Life English Scene 4 「ホームステイのお礼状ー手紙ー」</p> <p>⑥pp.29~36 Unit 3 「What kind of job are you interested in?」</p> <p>p.37 Real Life English Scene 3 「仕事についてのインタビュー」</p> <p>p.38 Learning Technology in English</p> <p>⑦pp.80~83 Stage Activity 2 「My School and School Life」</p> 



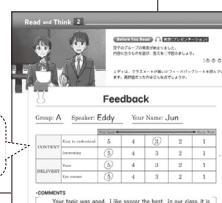
- ⑧pp.69~76 Unit 6 「How can we make a good presentation?」
- pp.100~103 Stage Activity 3 「Let's Have a Discussion」
- ⑨pp.59~66 Unit 5 「What design is good for everyone?」
- ⑩pp.104~108 Let's Read 3 「Pictures and Our Beautiful Planet」
- ⑪⑫pp.89~96 Unit 7 「What are World Heritage sites and their problems?」
- ⑬p.4 学び方コーナー2 「相手に伝わるように音読したい」
- pp.110~112 Further Reading 「I'll Always Love You」

## 3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

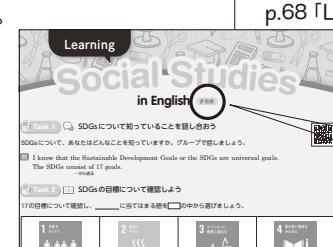
### (1) 全ての生徒が使いやすい紙面への配慮

観点	留意点	具体例
①特別支援教育への配慮	<p>①手書きを想定した部分では、視認性に優れ、かつ書きやすさに配慮した、小学校やBook 1と同じ書体を使用しています。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">Dear Mr. and Mrs. Wilson and Kevin,</p> <p>②本文やNew Words、Key Sentencesなど、紙面上の要素のデザインや配置を統一しているので、<b>学習の流れを見通す</b>ことができ、安心して学習に取り組むことができます。</p>	<p>① p.57 Real Life English Scene 4 「ホームステイのお礼状ー手紙ー」</p> <p>② pp.9~16 Unit 1 「What can we experience on a trip?」</p>
②ユニバーサルデザインへの取り組み	Unit、Stage Activityの2つのメイン単元があり、それに付随してより実践的な英語力をつけるためのReal Life EnglishやLet's Readも配置されています。Unit内の単元末活動(Unit Activity)を積み重ねることで、学期末のStage Activityへと到達できます。このように構成を規則的にし、 <b>学習のユニバーサルデザイン化</b> を図っています。	<p>pp.2~3 目次「学習の見通しを立てよう」</p> <p>p.27 Real Life English Scene 2 「旅行先でー許可を求める・依頼するー」</p>
③造本上の工夫	<p>①<b>GIGAスクール構想</b>に対応して、視聴覚教材での学びが適しているものは紙面からデジタルコンテンツに移し、A4判の紙面には余白を残して、生徒が手書きでの書き込みができるようにしています。また、指導時数も全体で10時間削減し、140時間の7割で指導を終えて、残りの3割は端末を使った個別最適な学びに充てることを前提に、過度な負担を極力おさえるように編修しています。</p> <p>②ページ数を抑えた上、<b>最大限に軽量化された</b>、薄くても裏写りしにくい用紙を使用しています。</p> <p>③特殊な糊を使って製本し、ページが大きく開くため、外側に折り返して手に持つても、ページがはがれず、堅牢なつくりです。</p> <p>④印刷は鮮明で、豊富な写真やイラストを効果的に配置しています。</p>	

## (2) 今日的な課題への取り組み

観点	留意点	具体例
①防災・安全	3年間を通して関連する教材を扱うなどして、防災や安全の視点を重視しています。	pp.59~66 Unit 5 「What design is good for everyone?」
②環境・資源・エネルギー	Unitでは自然や文化を守る取り組みを、Let's Readでは今日我々が直面する環境問題を、テーマとして大きく扱っています。	pp.104~108 Let's Read 3 「Pictures and Our Beautiful Planet」
③多様性・人権への配慮	題材や人物の出身国は、英語圏や非英語圏、日本とできるだけ <b>多様な世界の国々からステレオタイプを避けて設定</b> しています。それぞれの国の良さや違いを感じたり、言語や文化に対する理解を深めたりできるようにしています。また <b>男女のバランス</b> にも配慮しています。	扱う国や人物：シンガポール（Unit 1）、イタリア（Unit 2）、アメリカ（Unit 4）、インド（Unit 7）、南アフリカ共和国出身の白人工エディ、中国系カナダ人のチェン先生ほか
④伝統・文化	日本の伝統・文化の良さを海外に発信したり、外国発祥ながら日本で独自の発展を遂げた料理などを紹介し、 <b>新たな視点から自国への理解</b> を深めたりします。	pp.89~96 Unit 7 「What are World Heritage sites and their problems?」
⑤SDGs・道徳教育との関連	①多様な国々を取り上げることで、世界へ目を向け、視野を広げ、 <b>平和・国際貢献の精神</b> を育てることができるようになっています。 ②ペアやグループの学習、発表するときなど、 <b>相手意識</b> を持って伝え合い、伝わる喜びを感じられるように配慮しています。	① pp.9~16 Unit 1 「What can we experience on a trip?」 ② pp.100~103 Stage Activity 3 「Let's Have a Discussion.」
⑥小中高の連携	①小中高の連携を図るために、学習指導要領をもとにした <b>東京書籍版CAN-DOLIST</b> を作成し、それに則って学習目標を設定しています。 ②2年生では、 <b>段階的なりーディングの語数増と課題設定</b> に加え、単語の覚え方や音読の仕方などを解説しています。	①巻末CAN-DOLIST ②p.4 学び方コーナー1 「単語を効率的に覚えたい」・2 「相手に伝わるように音読したい」
⑦言語力の育成	①相手に伝わる読み方を学習したり、親しみのある物語の英語の原典を読んだりなど、国語を意識した学習ができるようにしています。 ②インタビューしたことのレポートにまとめたり、相手意識を持って意見を述べたりするなど、国語における留意点と共通性を持たせ、連携を図っています。 ③ <b>非連続型テキストの読解力の育成</b> にも配慮し、グラフの読み取りなどを取り上げています。	①p.4 学び方コーナー2 「相手に伝わるように音読したい」 pp.110~112 Further Reading 「I'll Always Love You」 ②③ pp.72~75 Unit 6 「Read and Think 1・2」   クラスメートが書いたフィードバックシートを読み取ります。

## (3) 学校教育を取り巻く諸課題への取り組み

観点	留意点	具体例
①先生がたの働き方改革への貢献	①1ページあたり1時間を基本とし、時間配当や年間指導計画を把握やすい構成にしています。 ②各Unitのパート構成と同じにしているため、 <b>学習の流れを見通しやすくなっています。</b> ③Unitでは扉の写真を使ってオーラルインポートを行うことができ、単元の導入から英語を使えるため、全体として「 <b>英語で授業</b> 」がしやすい流れを作っています。 ④UnitのタイトルでもあるUnit Questionの発問は、Unitを通して考え続ける内容となっており、 <b>題材を通して英語の「見方・考え方」を身につけ</b> 、学びを深められるように配慮しています。 ⑤活動で発話・対話したり、書いたりする際の <b>例文を紙とデジタルに示し</b> 、指導の際にも生徒自身が学習する際にも活用できます。 ⑥Stage Activityでは、カナダの中学生からのビデオレターでやり取りする設定で、写真や動画で <b>生徒の活動の姿が見える</b> ようにしており、 <b>国際交流の疑似体験</b> ができるようにしています。	①pp.2~3 目次「学習の見通しを立てよう」 ②③④ pp. 89~96 Unit 7 「What are World Heritage sites and their problems?」 ⑤⑥ pp.80~83 Stage Activity 2 「My School and School Life」
②カリキュラム・マネジメント・地域連携	①他教科と特に関連を図ったページにはマーク◎を示し、該当の内容を多面的に、より深く学べるように配慮しています。 ②デジタルコンテンツを活用しながら個別最適な学習ができるように、紙面の文字量を調整し、生徒が自分自身の学習活動に能動的に関わりなくなる工夫を随所に施しています。デジタルマップは地域での方針に沿って伸縮自在に <b>複式学級</b> や <b>少人数授業</b> 、 <b>家庭学習</b> に活用できる読み物教材です。	①p.38 「Learning Technology in English」 p.68 「Learning Social Studies in English」 ②デジタルマップ (多読用ご当地リーディング)  
③GIGAスクール構想の推進(個別最適な学び・協働的な学びのために)	①紙面に付した二次元コードを機器で読み取ることで、 <b>本文と語句欄の音声</b> （スピード変更、スラッシュ読み、カラオケ機能、マスク機能付き）や <b>文法解説動画</b> などを視聴できるため、学校でも家庭でも音声や動画を活用した学習ができます。 ②Unitの最初に配置しているPreviewには、二次元コードからアニメーションと音声を視聴できるので、そのUnitで扱っている文法項目を使う「目的・場面・状況」を予想することができ、 <b>意味のある文法学習の導入</b> となります。 ③ <b>制度化された学習者用デジタル教科書</b> の使用によって、必要な部分を大きくして見たり、音声へのアクセスが簡単にできたり、日本語訳を活用した学習ができたりするため、英語学習の最適な学びの環境を全ての中学生に保障します。	①p.1 「デジタルコンテンツを学習に活用しよう！」 ②p.9 Unit 1 のPreview

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配合授業時間数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-68	中学校	外国語	英語	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	英語002-82	NEW HORIZON English Course 2		

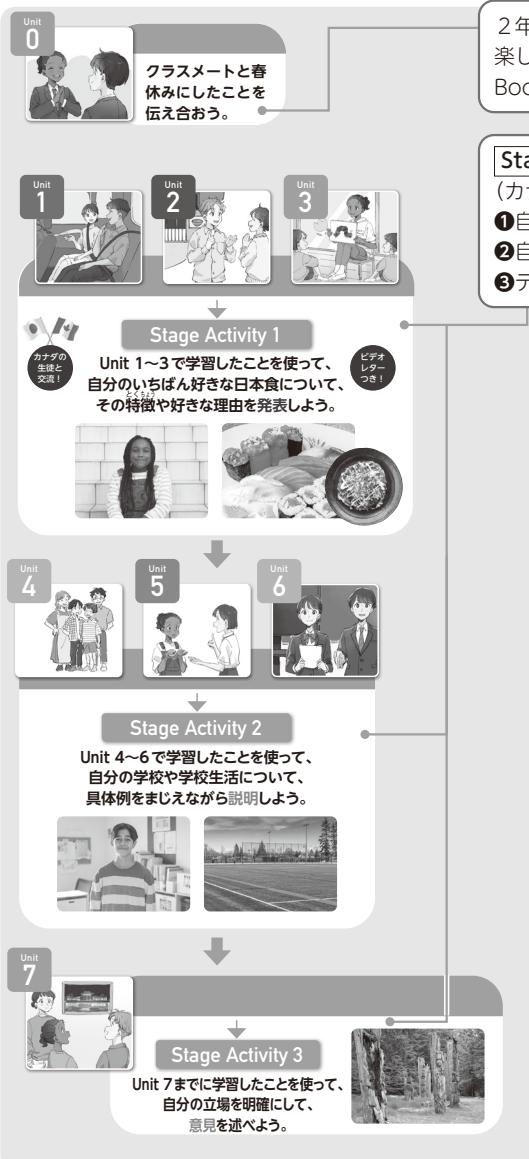
## 1 編修上特に意を用いた点や特色

### 中学2年生の学びから、 誰一人取り残さない英語教育

令和の日本型学校教育を実現するために、この教科書には次のような工夫があります。

## 1 Activityを積み上げて単元末のゴールの姿を評価

### 年間指導計画（縦軸）の流れ

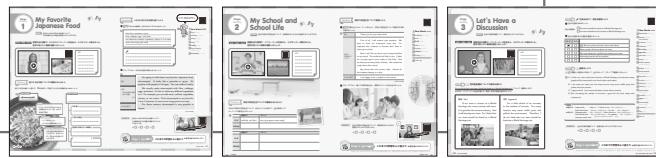


2年生の新学期。最初はクラスメートと春休みについて楽しく英語で伝え合うことからスタート。Book 1の表現を振り返ります。



### Stage Activity 年間を大きな3つのテーマでまとめる、バックワードデザインでタスクを構成

- ①自分のいちばん好きな日本食
- ②自分の学校や学校生活
- ③ディスカッション



### 一活動を積み上げる手順がわかり、学習が見通せる全体構成

この教科書は、年間指導計画（縦軸・左図）と単元のまとめ（横軸本資料p.7）とが、有機的に規則性・系統性を持って設計されています。この構造のもとで、学習の流れはパターン化され、目標（入口）と評価（出入口）の場所が明らかになるため、CAN-DOリストに沿ったわかりやすい手順で、確実に力につくことができます。各Unitの流れ（横軸）については本資料次ページ参照。



### [5領域をバランスよく育成]

単元	パート	聞く	読む	やり取り	発表	書く	
Unit	Preview	○					単元導入のためのリスニング
	Part 1・2	○	○	○	○	○	本文と、場面のある代入練習
	Before You Read/Read and Think 1・2	○	○	○	○	○	Partの本文を受けて、読み物(Read and Think)を読みに至る目的・場面・状況を導くリスニングと本文
	Unit Activity	○	○	○	○	○	単元末活動
Stage Activity		○	○	○	○	○	4技能統合、定番テーマでのまとめ
Real Life English/Let's Read		○	○	○	○	○	実生活密着の英会話など／読書
Grammar for Communication		○	○	○	○	○	文法の整理